お知らせ

●1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。
●不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

次のような症状がでるときは

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

●本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

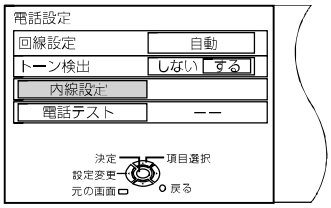
●電話機にノイズ（雑音）が入る
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

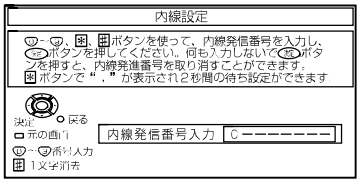
4 内線設定（例：0に設定する場合）

外線に電話するときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続する場合のみ、この設定が必要です。

①◎で「内線設定」を選び、決定ボタンを押す

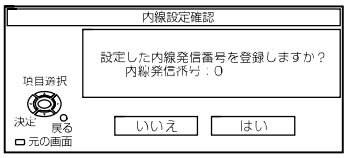


②0/10を押し、決定ボタンを押す



●時間待ち設定が必要な場合は、＊ボタンを押すことにより，（カンマ）が入力され時間待ち設定ができます。，（カンマ）1つで2秒間の待ち設定になります。
●＃ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

③◎で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す



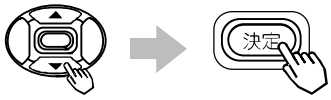
はい	入力した内線発信番号が登録されます。
いいえ	入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

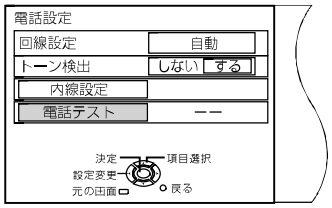
●すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は②の手順で何も入力せずに決定ボタンを押し、③の手順で◎ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押してください。
●戻るボタンで1つ前の画面に戻せます。

5 電話テスト

「電話設定」が正しく設定されているか否かを確認します。テストには1分程度の時間がかかる場合があります。

◎で「電話テスト」を選び、決定ボタンを押す





OK	正常終了しました。
NG	不具合が発生しています。画面に表示される説明に従って原因を取り除いてください。
テスト中	テスト中です。
ーー	テストをしていない状態です。

●電話テストを行うときは、同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。
●「トーン検出」の設定を「しない」に設定している場合、本機は自動的にダイヤル動作を行い電話回線の接続テストを行ないます。このテスト結果で万一「NG」の場合は、画面に表示される説明に従ってください。また 113 の接続についても確認してください。

6 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

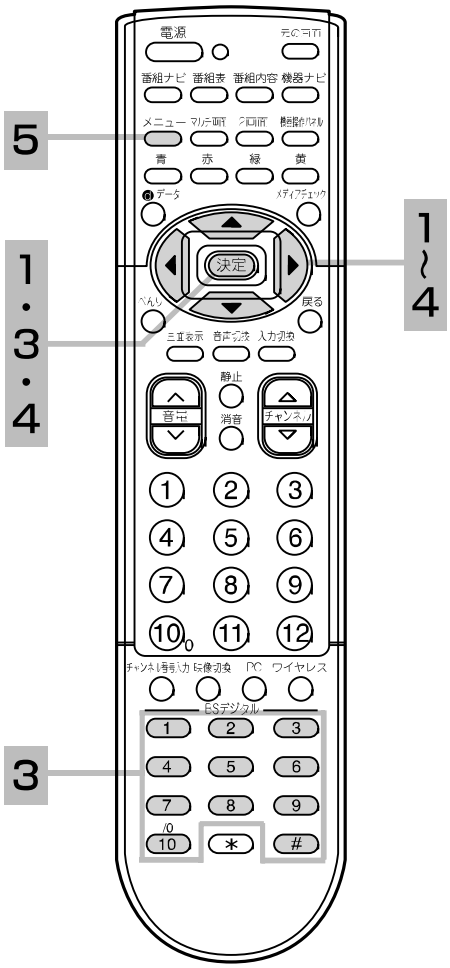
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

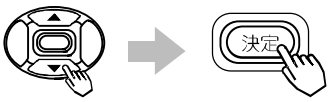
地域設定

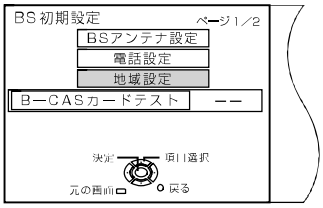
「地域設定」は、緊急警報放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信するための設定です。

まず、136 、137 の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。



1 ◎で「地域設定」を選び、決定ボタンを押す

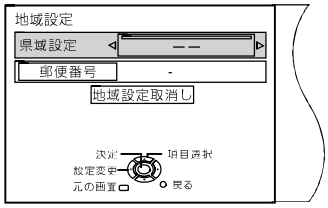




2 県域設定

お住まいの都道府県を設定します。

◎で「県域設定」を選び、◎で都道府県を設定する

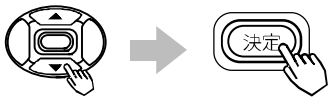


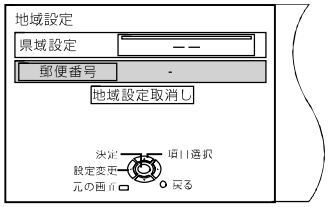
伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

3 郵便番号

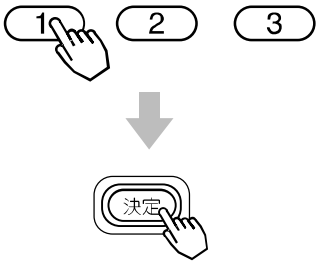
お住まいの地域の郵便番号（7桁）を設定します。

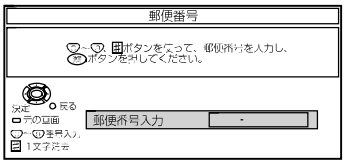
①◎で「郵便番号」を選び、決定ボタンを押す





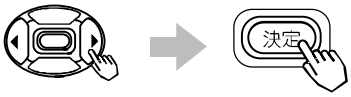
②7桁の郵便番号を押し、決定ボタンを押す

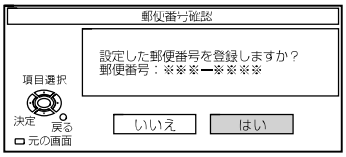




（#）ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

3 ③で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す



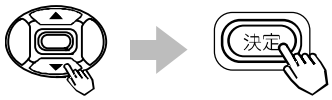


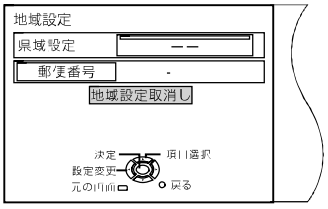
は　い	入力した郵便番号が登録されます。
いいえ	入力した郵便番号が取消され「地域設定」画面に戻ります。

4 地域設定取消し

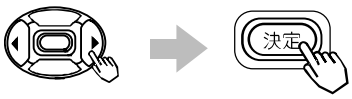
設定した「県域指定」と「郵便番号」をお買上げ時の状態に戻します。

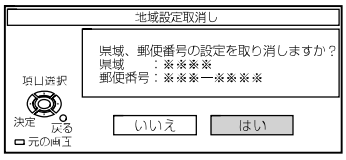
①で「地域設定取消し」を選び、決定ボタンを押す





②で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す





は　い	「県域設定」と「郵便番号」の設定値をお買上げ時の状態に戻します。
いいえ	「地域設定」画面に戻ります。

5 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

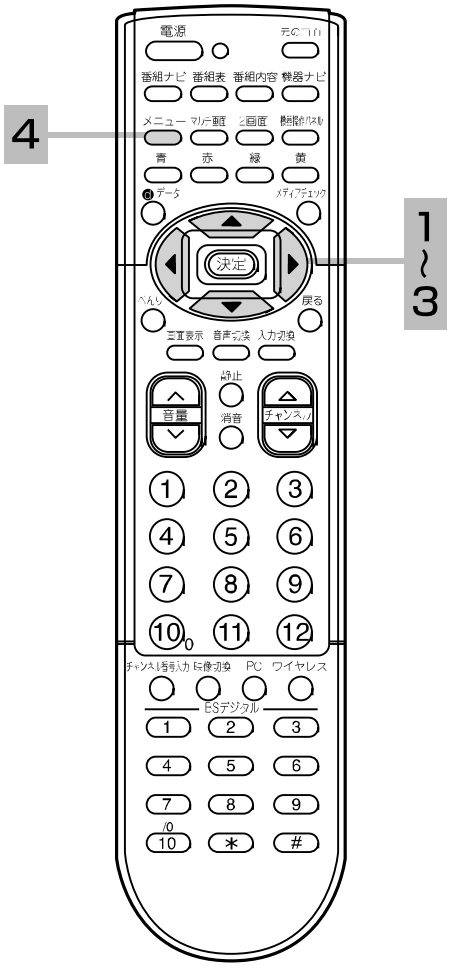
BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

BSチャンネルの設定

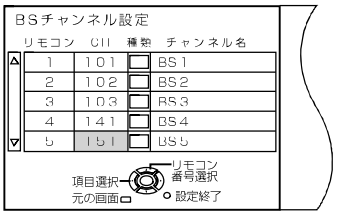
リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルをお好みのチャンネルに設定できます。

まず、136 、137 の操作で「BSチャンネル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

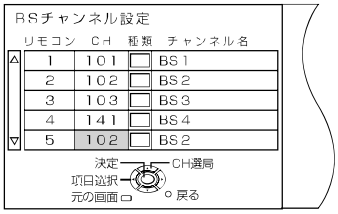
（例）5ボタンに102チャンネルを設定する場合



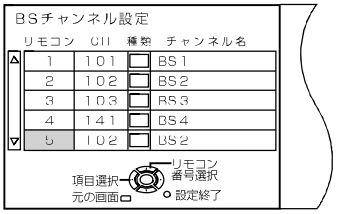
1 ◎で設定したいリモコン番号を選び、◎でCHの項目を選ぶ



2 ◎でチャンネル番号を選ぶ



3 続けて設定したい場合 ◎でリモコンの項目を選び、1 から操作する



4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

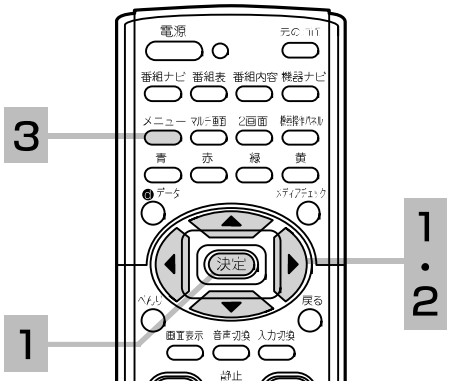
お知らせ

- プリセット選局については 22 をご覧ください。
- チャンネル番号は、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
- 「リモコン」項目の11～40に設定したチャンネルは、選局対象の設定を「プリセット」にした場合に順送り選局ができます。92

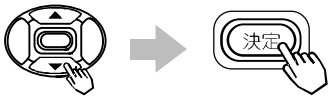
BSアンテナの設定

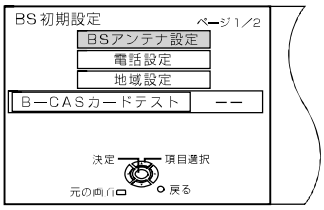
**本機からBSアンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」/「オフ」を設定します。
お買上げ時は「オフ」に設定されています。また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。**

まず、136 、137 の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

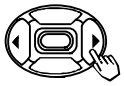


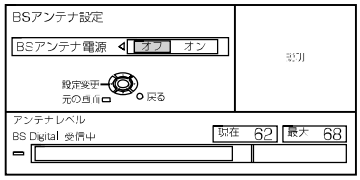
1 でBSアンテナ設定を選び、決定ボタンを押す





2 で設定する





オ ン	個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。
オ フ	マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

3 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

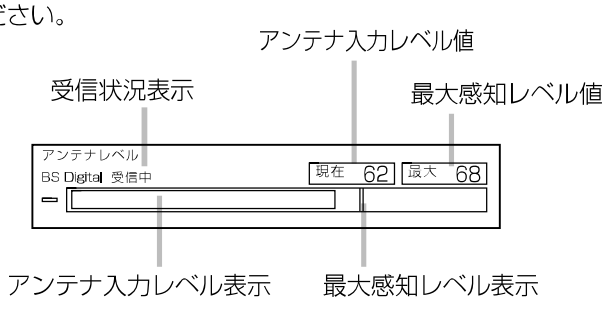
- アンテナの仰角・方位角の調整方法はBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。
- 受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。「BS Digital 受信中」と表示される向きにアンテナを調整してください。

メ モ

アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。

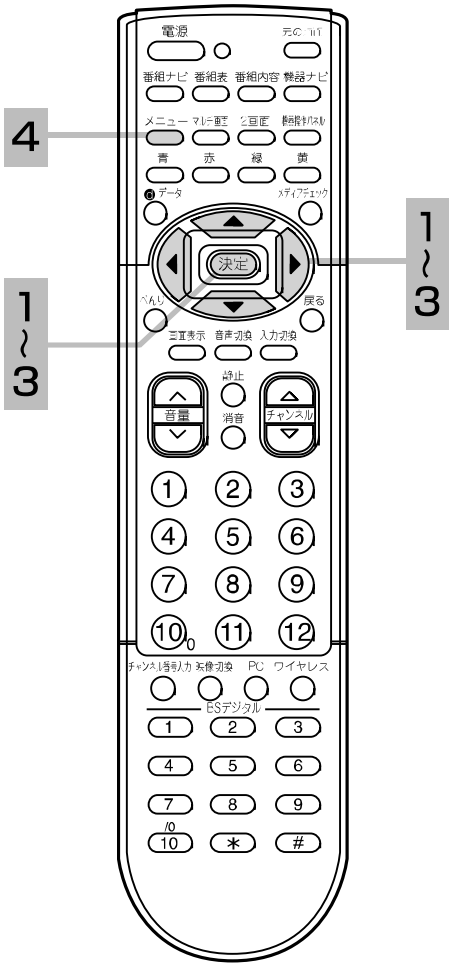
アンテナ入力レベルの確認と調整について

「BSアンテナ設定」画面でアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながらBSアンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。
アンテナの向きを調整していくと、受信可能レベルに達したとき「BS Digital 受信中」と表示されます。さらに、「BS Digital 受信中」が表示された状態でアンテナ入力レベル表示が最大になる向きをさがし、その向きにアンテナを固定してください。



最大感知レベル表示	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
最大感知レベル値	
アンテナ入力レベル表示	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
アンテナ入力レベル値	
受信状況表示	BSデジタル放送を受信すると「BS Digital 受信中」と表示されます。

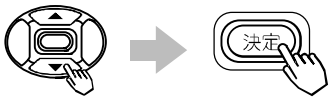
BSデジタル放送の受信設定について（つづき）



まず、136 、137 の操作で「BS初期設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 受信設定

で受信設定を選び、決定ボタンを押す



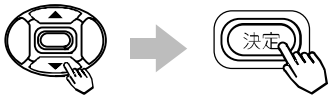
お守りください

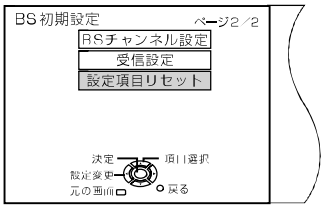
受信設定について

「受信設定」画面での設定は、BSデジタル放送からの指示がない限り行わないでください。設定を変更するとBSデジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

2 設定項目のリセット

で設定項目リセットを選び、決定ボタンを押す





お守りください

設定項目のリセットについて

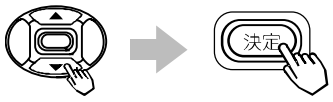
「BSアンテナ設定」、「電話設定」、「受信設定」の設定値をお買上げ時の状態に戻します。

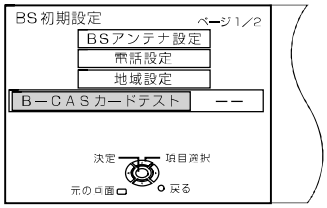
正常に受信できているときは実行しないでください。受信できなくなる場合があります。

3 B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。
本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。 112

◎でB-CASカードテストを選び、決定ボタンを押す





B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK	正常に動作しています。
NG	正常に動作していません。 B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないカードが挿入されていないかなどを確認してください。 112
テスト中	テスト中です。
－－	テストをしていない状態です。

4 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お守りください

B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

ダウンロードについて

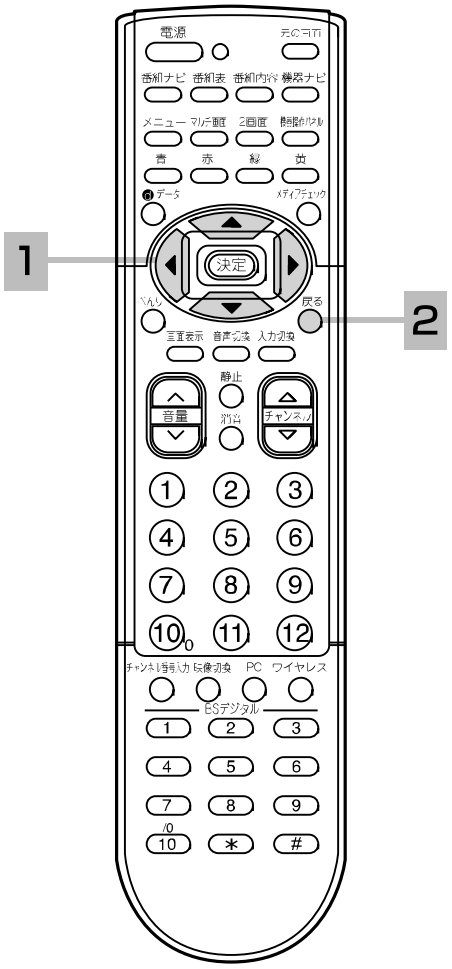
ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り組む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。
ダウンロードデータが送られる場合は事前にダウンロードについてのメールが届きます。
ダウンロード予約をすることにより、リモコン電源オフ（機能待機）のときに自動的にダウンロードを行います。

ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。
1つは、機能向上などの重要なダウンロード、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの選択ができるダウンロードです。

- ●重要なダウンロード情報が届いた場合、右頁の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- ●お客様が選択するダウンロード情報や、「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届いた場合、ダウンロード予約選択メールが届きます。

下記の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

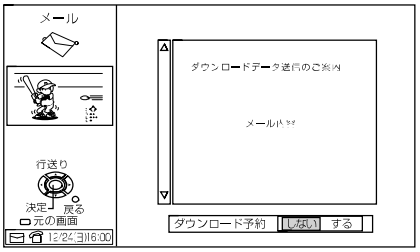
ダウンロード予約選択メール画面での設定方法



まず、97 の操作手順でダウンロード予約のメールを確認する

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択することにより、ダウンロード予約が設定され、電源オフ（機能待機）状態時に、自動的にダウンロードを行います。

1 で「する」または「しない」を選ぶ



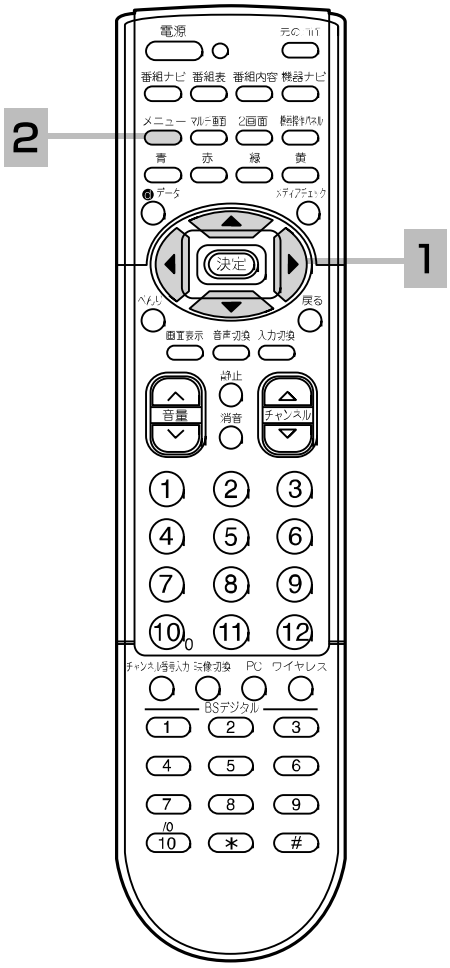
する	ダウンロードを行う場合に選びます。
しない	ダウンロードを行わない場合に選びます。

2 戻るボタンを押してメール一覧画面に戻る

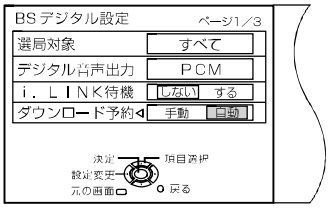
ダウンロード予約の自動/手動設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールで「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。お買上げ時は「自動」に設定されています。

まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。



1 ◉で「ダウンロード予約」を選び、◉で設定する



自動	重要なダウンロード情報が届けば、電源オフ（機能待機）状態時に自動的にダウンロードを行います。（ふだんはこちらでご使用ください。）
手動	ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など、重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

「ＢＳデジタル設定」画面は3ページ構成です。◉で項目を送ると自動的にページが変わります。

2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

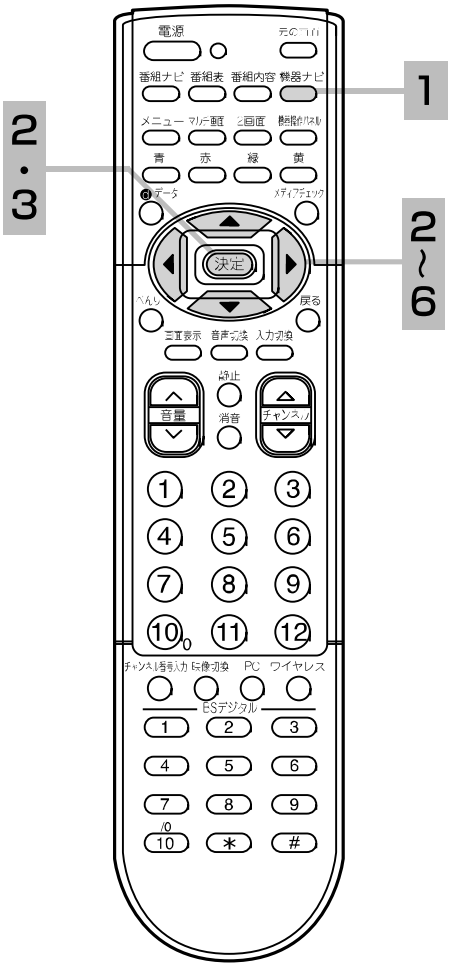
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。97
- ダウンロードは、悪天候の時などに失敗する場合があります。
  この場合、ダウンロード失敗のメールが届きます。97
- ダウンロード中は、チューナー部のファンモーターが自動的に回転しますが故障ではありません。

BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

外部機器接続時の設定

Irシステムの設定

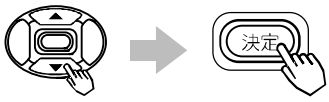
付属のビデオコントローラーを使用すると、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。
（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）

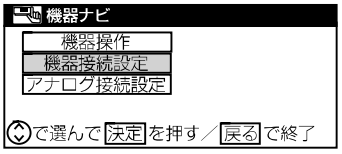


1 機器ナビボタンを押す

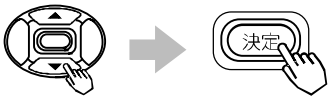
機器ナビ画面が現れます。

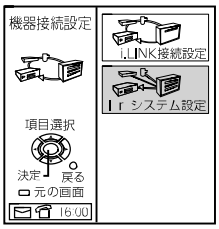
2 ◯で「機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す





3 ◯で「Irシステム設定」を選び、決定ボタンを押す





お守りください

メーカーの設定が「松下」のとき、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する松下製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うかビデオデッキ側でタイマー予約の設定を行ってください。

お知らせ

既にIrシステムを使用し予約している場合は、Irシステムの設定変更はできません。

連動予約が設定可能な録画機器メーカーについて

松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび松下製、パイオニア製のDVDレコーダー

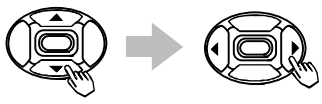
●タイマー予約は、1989年以降発売の松下製タイマー予約機能付ビデオデッキのみに設定できます。
（連動予約、タイマー予約については 83 をご覧ください。）

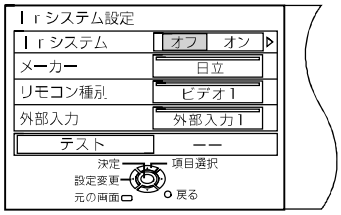
114 に記載のビデオコントローラーを正しく接続、設置し、下記のIrシステムの設定とテストを行ってください。

4 Irシステムの設定

Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。お買上げ時は「オフ」に設定されています。

◯で「Irシステム」を選び、◯で「設定する



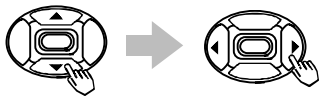


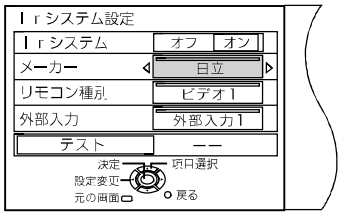
オン	Irシステムを使用します。
オフ	Irシステムを使用しません。

5 メーカーの設定

本機に接続している録画機器メーカーを設定します。

◯で「メーカー」を選び、◯でメーカー名を設定する



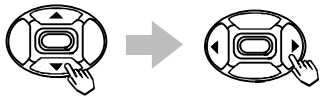


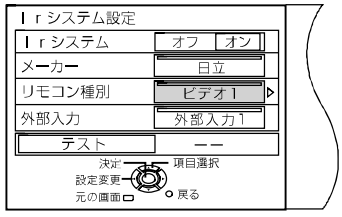
本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。（ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。）
お買上げ時は「日立」に設定されています。

6 リモコン種別の設定

「メーカー」の設定をしても録画機器が動作しないとき、録画機器が動作するリモコン信号に設定します。

◯で「リモコン種別」を選び、◯でリモコン信号を設定する





お知らせ

Irシステムの設定について

Irシステムを「オン」にした場合は、「メーカー」の設定、「リモコン種別」の設定、「外部入力」の設定を行い、テスト 150 を行ってください。

メ モ

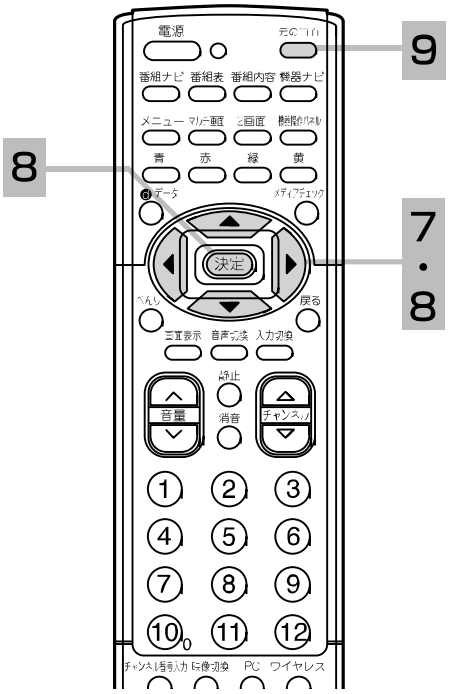
リモコン種別の設定について

- 録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合もあります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切換えて再度テストを行ってください。
  お買上げ時は「ビデオ１」に設定されています。
- 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

外部機器接続時の設定（つづき）

Irシステムの設定（つづき）

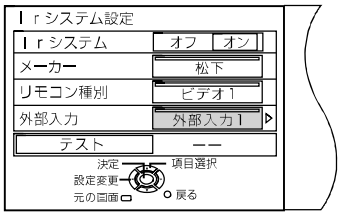


7 外部入力の設定

松下製録画機器を接続し、タイマー予約をする場合に設定します。

- 145 の設定で「メーカー」の設定を「松下」、かつ「リモコン種別」の設定が「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」のときのみ設定できます。（お買上げ時は「外部入力1」に設定されています。）

で「外部入力」を選び、で設定する



下図のように切り換わります。

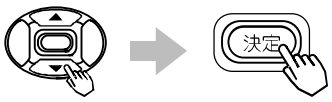
外部入力1 ⟷ 外部入力2 ⟷ 外部入力3

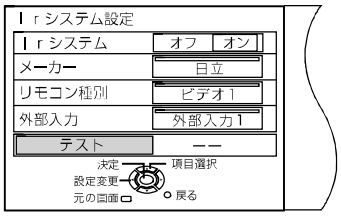
8 テスト

4 ～ 6 の設定後、次の操作で録画機器の動作を確認してください。

- ●録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
- ●テストを実行すると録画機器に電源「入」/「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」/「切」するかどうか確認してください。

で「テスト」を選び、決定ボタンを押す





- ●送信中が表示され、電源「入」/「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
- ●送信を終了したい場合は、再度、決定ボタンを押してください。

9 設定が終了したら元の画面ボタンを押す

お知らせ

外部入力設定について

外部入力の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしてもBSデジタル放送の番組は録画できません。

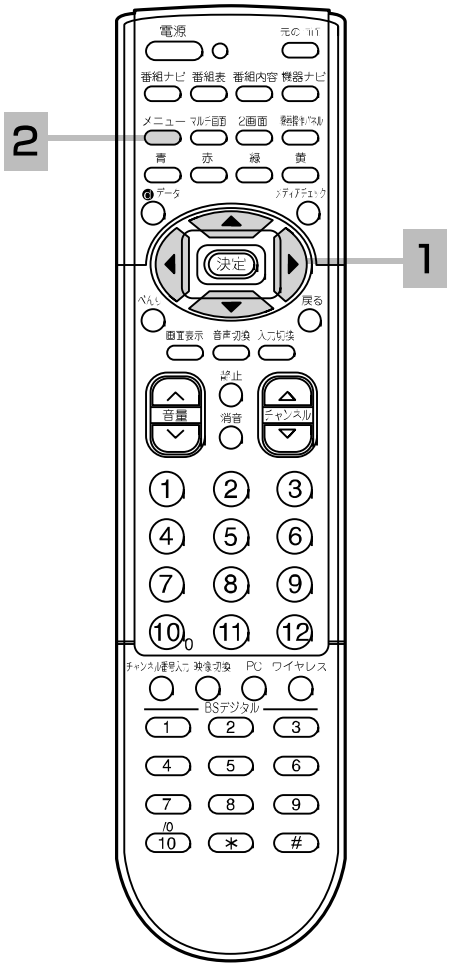
録画機器の電源が「入」/「切」しない場合は

①録画機器が録画機器のリモコンで「入」/「切」できるか確認してください。
②ビデオコントローラーの接続と設置を確認してください。 114
③リモコン信号が複数あるメーカーの場合、「リモコン種別」の設定を変えてみてください。

- ●「テスト」のリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。この場合、Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。
- ●テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

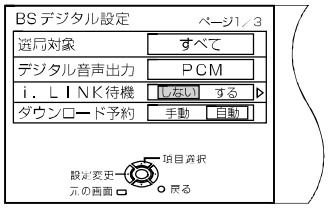
i.LINK待機の設定

本機では電源オフのとき、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力の少なくなる「しない」に設定してください。



まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「i.LINK待機」を選び、で設定する



しない	電源オフ時の消費電力を少なくします。電源オフにすると、映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやi.LINK信号の中継はできません。
する	電源オフにすると機能待機ランプが点灯し映像・音声などの信号出力を停止しますがi.LINK接続された機器からの制御は受け付けることができます（「機能待機」状態になります）。このとき、チューナー部のファンモーターが動作しますが故障ではありません。

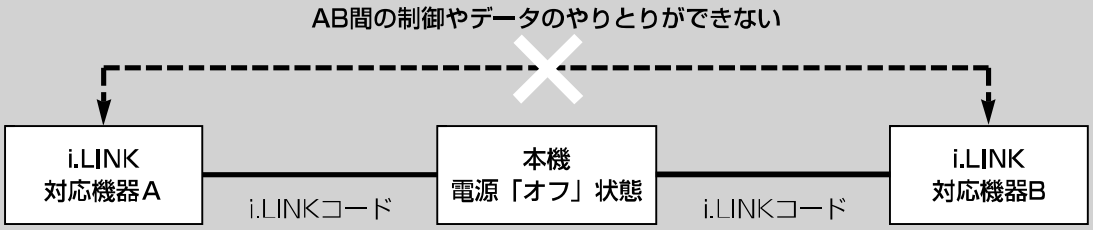
2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

i.LINK待機設定について

複数のi.LINK対応機器をi.LINKコードで接続した場合、i.LINK待機の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK待機の設定を「する」にするとデータのやりとりができます。また、電源オン（受像）時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

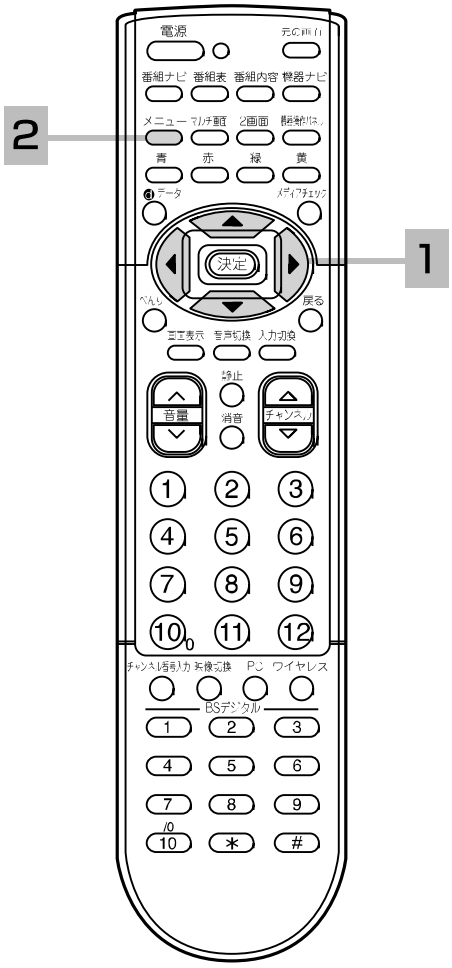


BSデジタル放送の受信設定について（つづき）

外部機器接続時の設定（つづき）

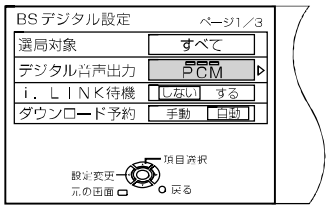
デジタル音声出力の設定

本機の光デジタル音声出力端子は、AACフォーマットの音声データを出力することができます。AACフォーマット対応のオーディオ機器に接続すれば、サラウンド・ステレオの番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。



まず、136 の操作で「BSデジタル設定」画面を出し、次の操作で設定を行ないます。

1 ◉で「デジタル音声出力」を選び、◉で設定する



PCM	AACフォーマットに対応していないオーディオ機器を接続する場合に設定します。
AAC	AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。
自動	AACフォーマットに対応しているオーディオ機器を接続する場合に設定します。サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切換えます。

お買上げ時は「PCM」に設定されています。

2 設定が終了したらメニューボタンを2回押す

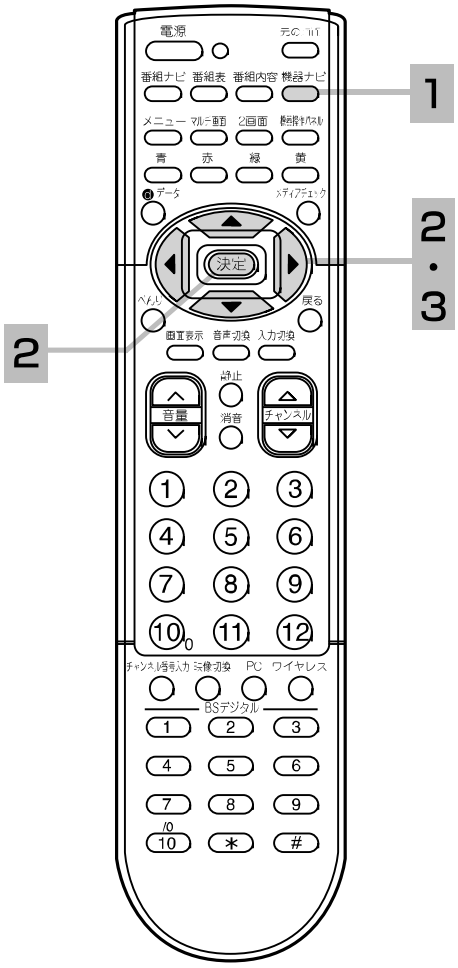
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機の光デジタル音声出力端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、BS/モニター出力の音声端子または音声モニター出力端子をご使用ください。

アナログ接続設定

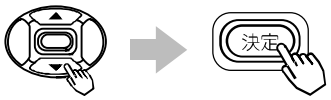
本機に接続したD-VHSビデオデッキの再生映像が、デジタルからアナログ（又はその逆）に切り換わったとき、本機の入力を切り換えずに、連続して視聴するための設定です。
D-VHSビデオデッキのビデオ出力から本機に接続されているビデオ入力（ビデオ入力1～3）をご確認のうえ、接続と同じ設定にしてください。

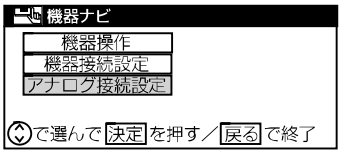


1 機器ナビボタンを押す

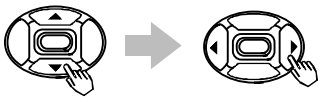
機器ナビ画面が現れます。

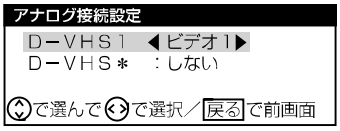
2 ◎で「アナログ接続設定」を選び、決定ボタンを押す



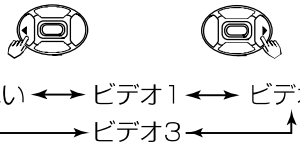


3 ◎で設定するD-VHSを選び、◎でD-VHSを接続しているビデオ入力を選択する





下図のように切り換わります。



4 設定が終了したら元の画面ボタンを押す

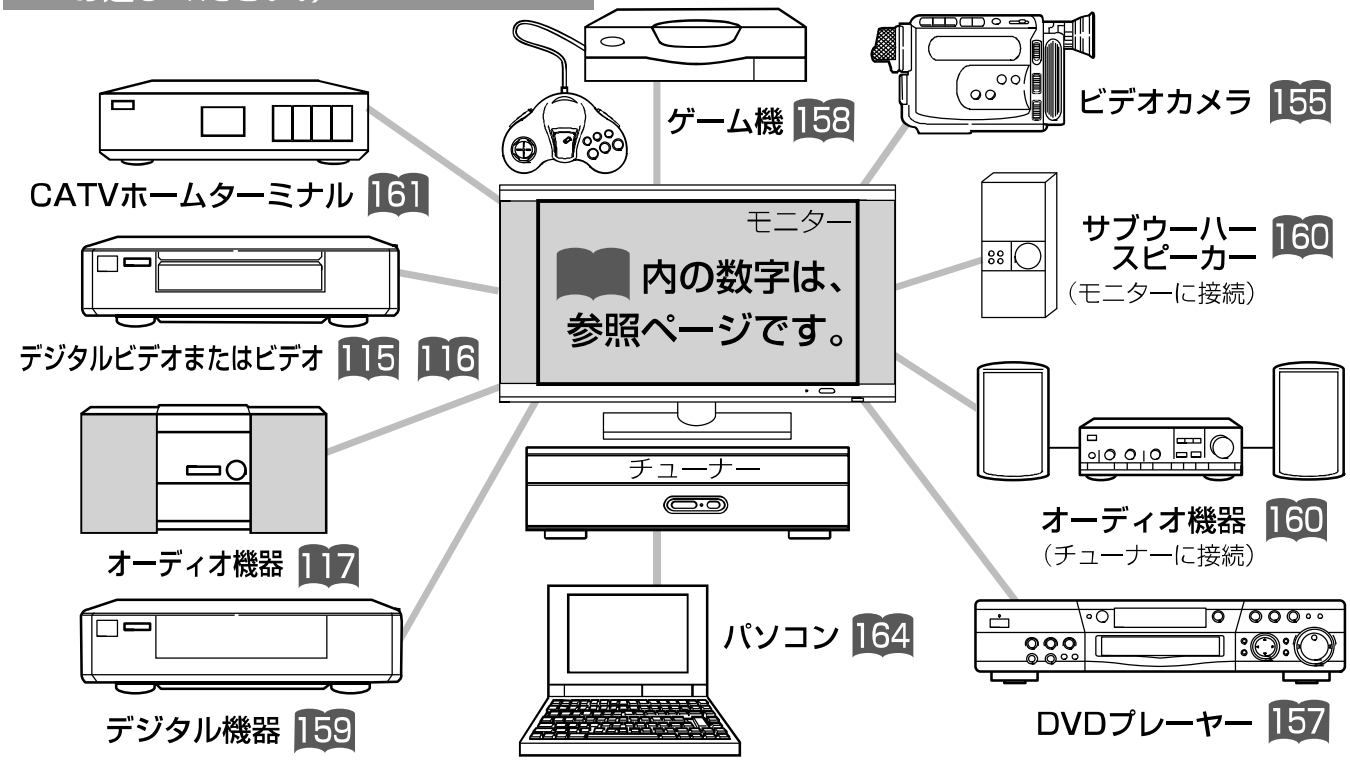
他の外部機器と接続したいとき

お守りください

接続時のご注意

- ●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- ●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- ●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ●接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、モニターの画面又は画面の背面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。特にアンテナ線は、付属のRFケーブル、フェライトコアをご使用いただき他の接続ケーブルからもはなすように配置してください。

接続できる機器
（下記から入力端子数に合わせて、お選びください。）



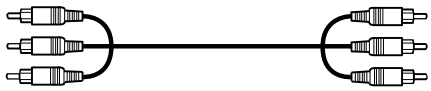
メ モ

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。外部機器を接続するときに便利な設定 54 をご覧ください。

システムアップに必要な接続コード（別売り）

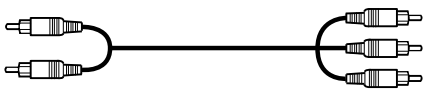
これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新しく購入される必要はありません。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-120G(コード長2m)



主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像・音声信号入出力接続コード VS-315G(コード長1.5m)

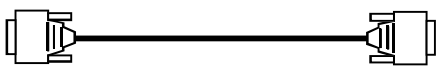


主にモノラルビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

●映像信号入出力接続コード VS-220G(コード長2m)

主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

●RGB接続コード(一般市販品)

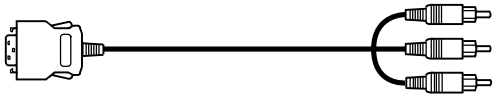


ミニD-Sub15ピンケーブルとパソコンの接続に使用します。

●音声信号入出力接続コード AR-115G(コード長1.5m)

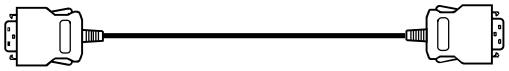
主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

●D端子ピンケーブルTP-CDP01 (コード長1.5m)



DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力との接続に使用します。

●D端子ケーブルTP-CDD02(コード長1.5m)

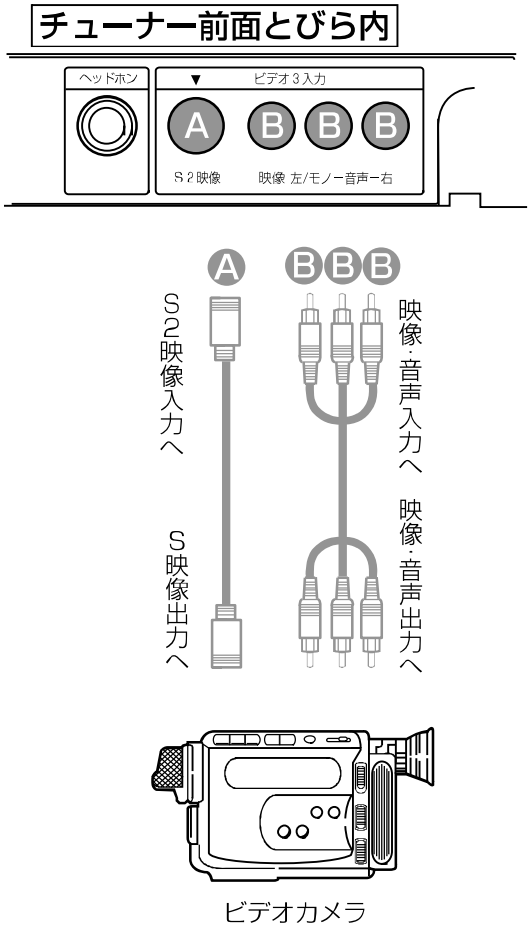


D端子対応機器や将来実用化予定のデジタル機器との接続に使用します。
詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送関連機器の接続については、115 ～ 117 をご覧ください。
ビデオとの接続 115
i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続 116
デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続 117

ビデオカメラとの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



1 入力切換ボタンで「ビデオ3」にする

画面に「ビデオ3」の表示が出ます。

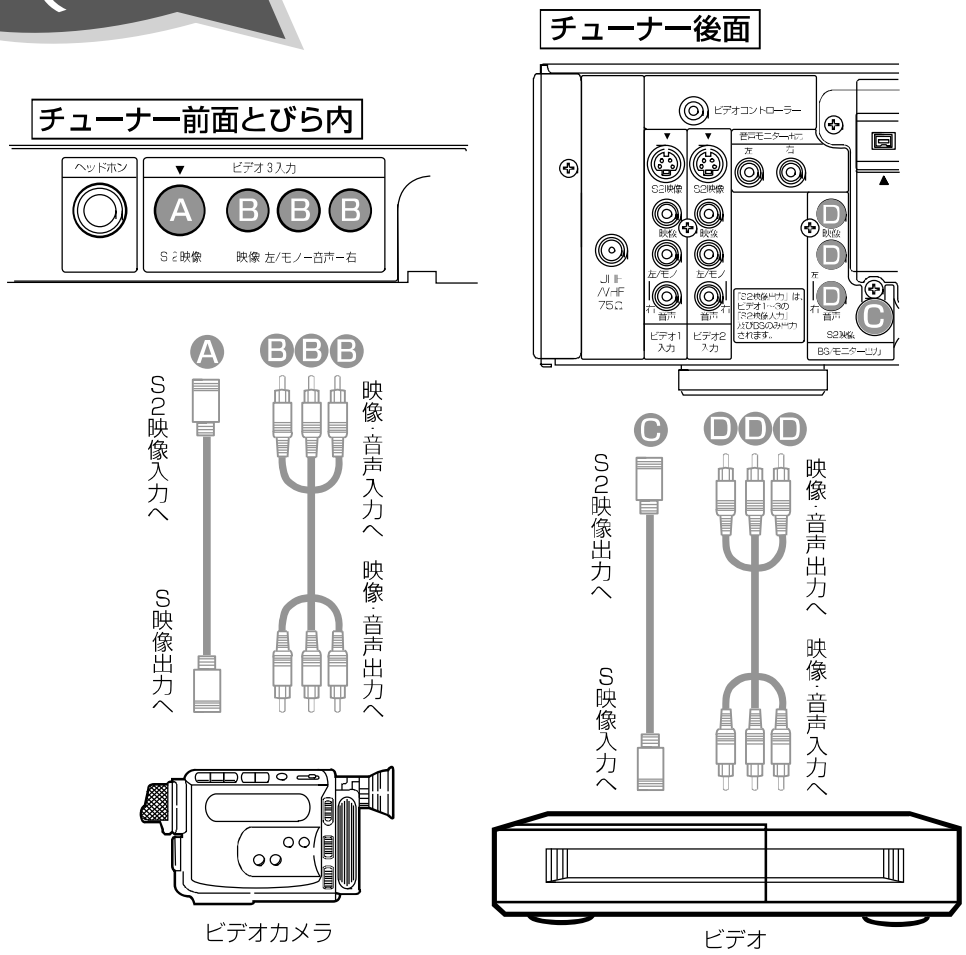
2 ビデオカメラを操作する

設置

他の外部機器と接続したいとき（つづき）

画面を見ながらテープ編集をするときの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



メ モ

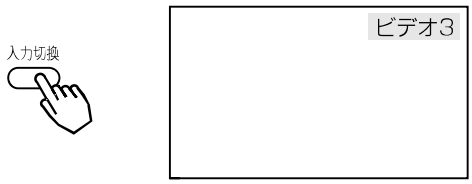
- ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。また、マルチ画面(4画面および2画面)、メディアチェックの操作もしないでください。

モニター出力端子について

- コンポーネント入力およびPC入力時の映像と音声は、モニター出力端子からは出力されません。
- モニター出力は画面に映っているものを出力しますが、ワイド処理された信号が出力されるものではありません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。
- モニター出力のS2映像出力は、BSデジタル放送やビデオ1〜3端子に入力したS2映像をご覧になっているときに出力されます。
- ビデオ1入力については、モニター出力を「する」「しない」の設定ができます。55 をご覧ください。
- マルチ画面のときのモニター出力映像は、2画面のときは選んでいる画面が、4画面のときは親画面の映像と音声が出力されます。

1 入力切換ボタンで「ビデオ3」にする

ビデオ1、ビデオ2入力に接続された機器を編集するときは，「ビデオ1」「ビデオ2」にします。



2 ビデオを外部入力に合わせる

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオを録画状態にする

お知らせ

メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「しない」に設定している 55 ときは、ビデオ1入力の映像と音声は出力されません。

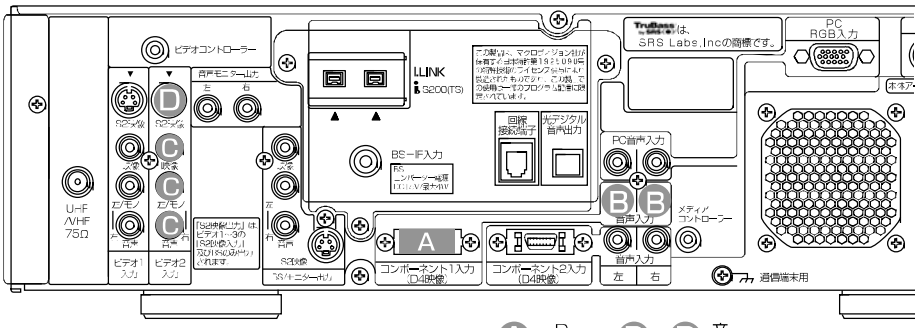
DVDプレーヤーとの接続

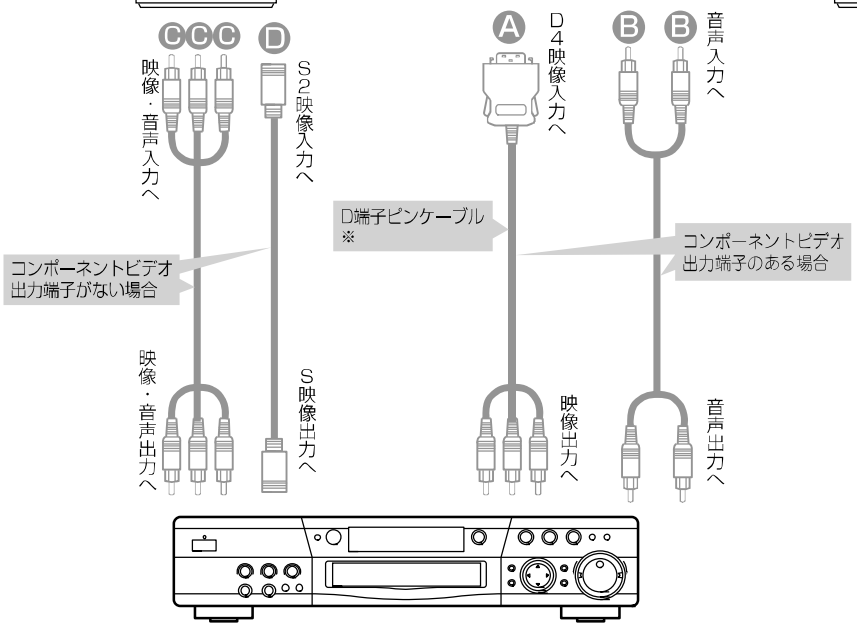
（図の同じ記号のところに接続してください）

準　備

「コンポーネント1設定」を「オート」に設定する。57
お買い上げ時は「オート」に設定されています。

チューナー後面





DVDプレーヤー

メ　モ

コンポーネント1入力端子について

- ●コンポーネント1入力端子（D4映像）はDVDプレーヤーおよび将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号（525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）信号）を接続できます。
- ●コンポーネント入力の映像はモニター出力端子に出力されません。

※D端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01［1.5m］）をお求めください。

1 入力切換ボタンで「ビデオ4」にする

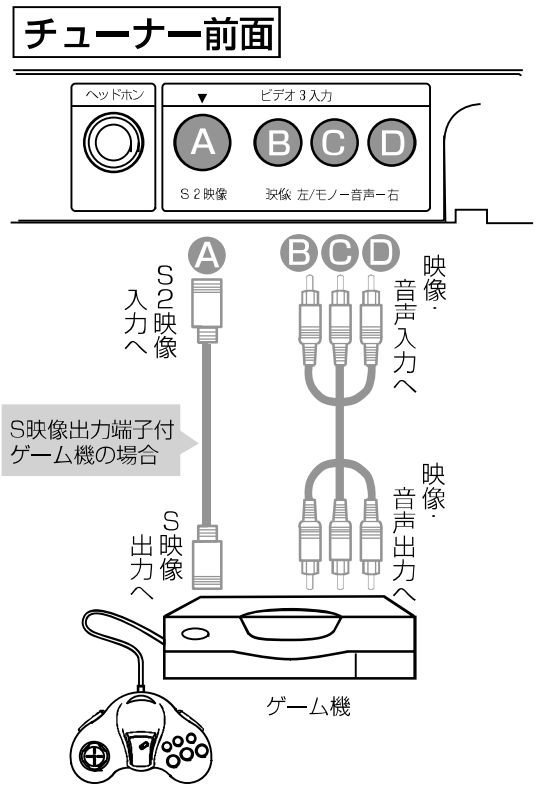
ビデオ2入力に接続したときは「ビデオ2」にします。

2 DVDプレーヤーを操作する

他の外部機器と接続したいとき（つづき）

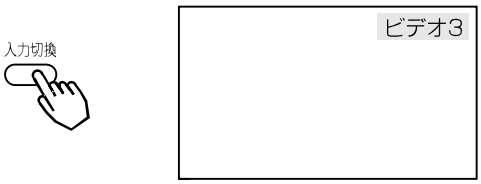
ゲーム機との接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



1 テレビゲーム本体とチューナー前面のビデオ3入力端子を接続する

2 入力切換ボタンで「ビデオ3」を選ぶ



テレビまたはBSチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

3 ゲーム機を操作する

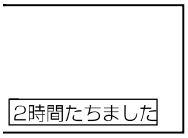
ゲームモードについて

ゲームモードの設定 55 を「入」に設定すると、ビデオ3に切り換えるだけで自動的に次のような設定が行われます。

●映像モードはナチュラル、ワイドモードはフルモードに切り換わります。ゲーム画面でも映像モード、ワイドモードは切り換えることができます。
●ビデオ3を選ぶと、時間が経過（1時間、1時間30分、…最大4時間）するごとに、時間を表示します（約5秒間）。表示時間を目安に適度な休憩をとり、お楽しみください。一度電源を「切」にすると、経過時間が0に初期化されます。

お知らせ

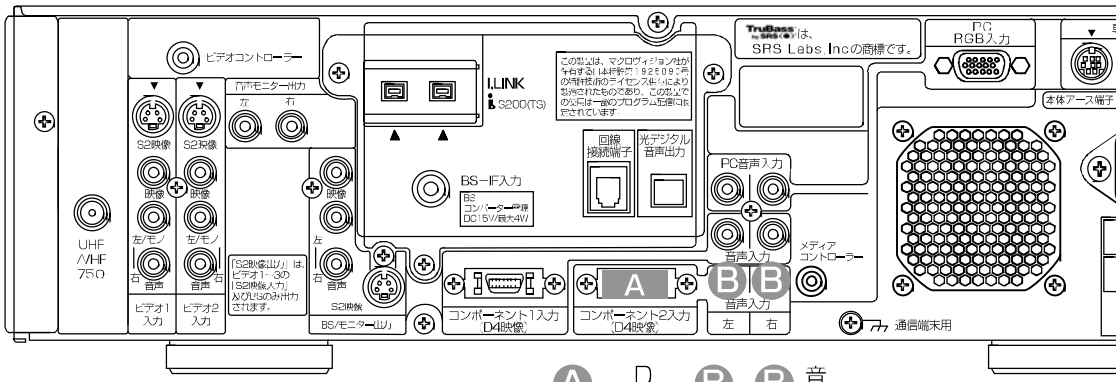
●ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。
●ライフルタイプやガン（銃）タイプのコントローラを使用するシューティングゲームなどは、本機では使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトおよびコントローラの取扱説明書をご覧ください。

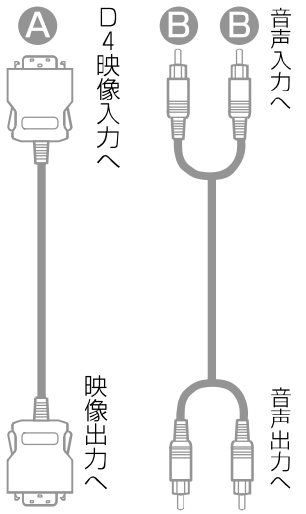


将来実用化予定のデジタル機器との接続

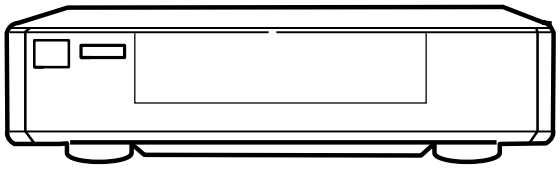
将来実用化予定のデジタル放送環境に対応したデジタル機器に接続することができます。
（図の同じ記号のところに接続してください）

チューナー後面





デジタル機器



メ モ

コンポーネント2入力端子について

- コンポーネント2入力端子（D4映像）は、将来実用化予定のデジタル機器のD映像信号を接続できます。本機はD映像信号の525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）750P（720P）に対応しています。525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）信号を入力時は、画面が自動的にフルモードになります。
- コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。
- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 入力切換ボタンで「ビデオ5」にする

画面に「ビデオ5」の表示が出ます。

2 デジタル機器を操作する

詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

他の外部機器と接続したいとき（つづき）

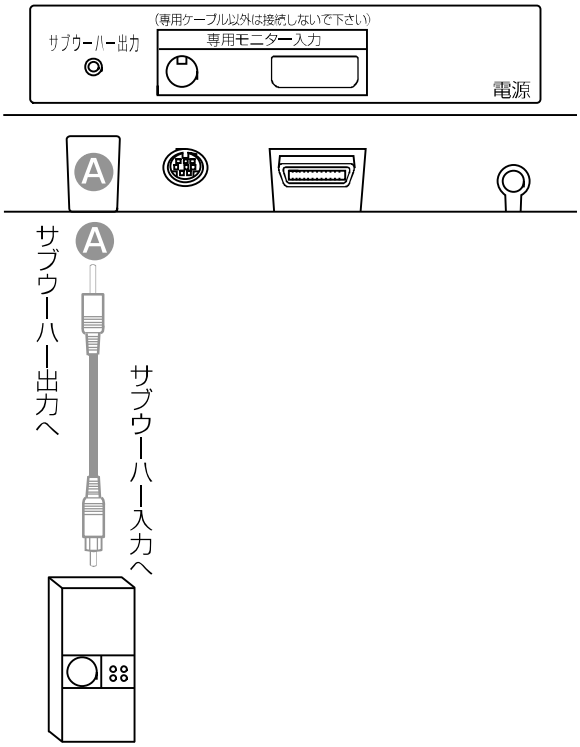
オーディオ機器との接続

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。
（図の同じ記号のところに接続してください）

モニターのサブウーハー出力端子へ接続する場合

モニターのサブウーハー出力は本機により音量、音質など調節された低音を出力します。
専用オプションのサブウーハーを接続してください。

モニター後面



1 本機で音量を調節する

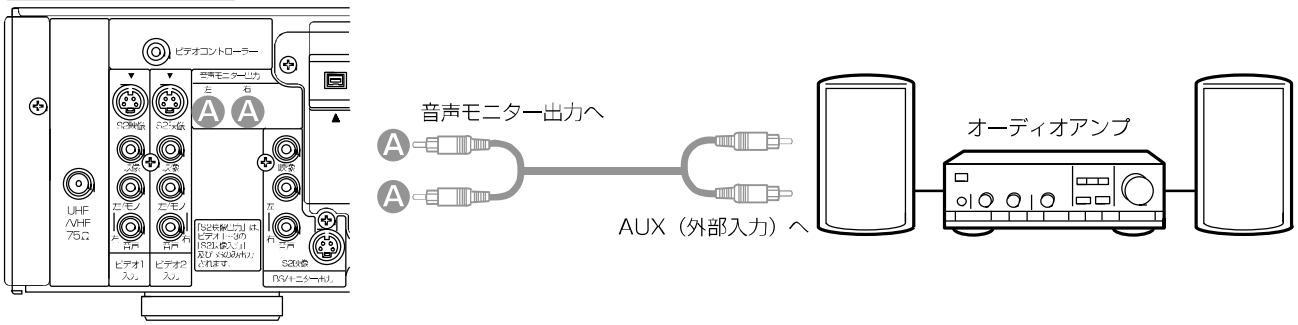
接続したサブウーハーの音量は、本体のスピーカー音量に合せて固定してください。
音量調節などは本機で行えます。

お知らせ

サブウーハーなどの接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。

チューナーの音声モニター出力端子へ接続する場合

チューナー後面



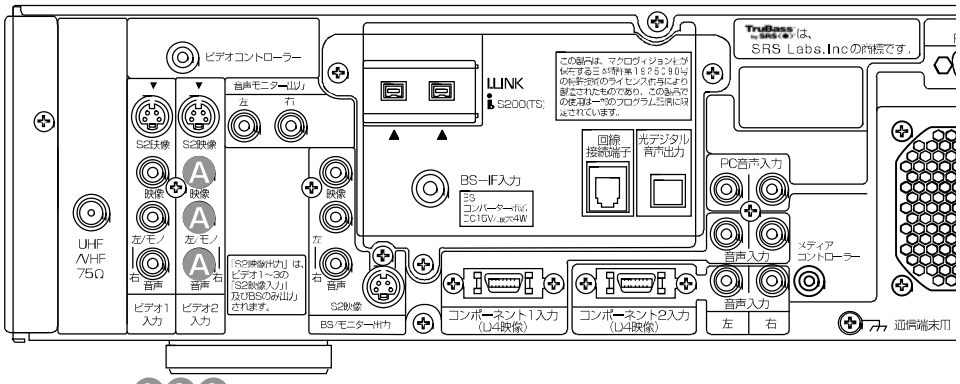
1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

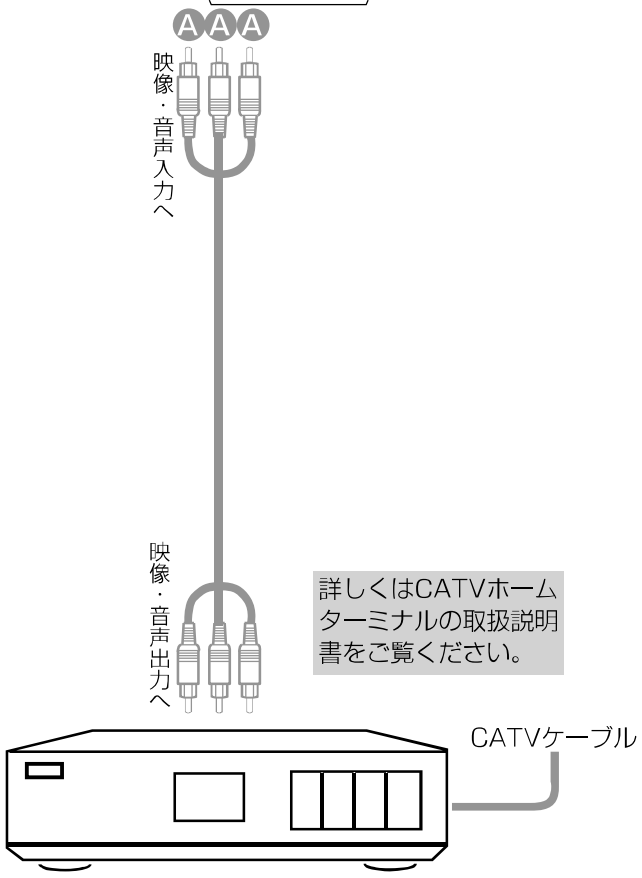
ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

CATVホームターミナルとの接続

CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

チューナー後面





メ モ

CATVホームターミナルの電源に連動して、テレビの電源を「入」にして、ビデオ2に自動的に切り換えることもできます。
この場合は、テレビの電源「切」はCATVホームターミナルの電源に連動しません。
リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。54

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。
使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。